

2026年6月9日

日本船主協会 海事人材部

率直な意見交換を通じて関係を強化
～海技教育機構と内航海運事業者の情報交換会を開催～

日本船主協会では、優秀な日本人海技者確保のための広報活動を展開しております。

この度、2026年6月9日（火）に当協会内航WGが中心となって、海技教育機構本部および傘下の海上技術学校・海上技術短期大学校・海技大学校の各教員と当協会会員の内航海運事業者がお互いの状況等について意見交換する「情報交換会」を開催しました。

6月9日に開催した同情報交換会は、今回で17回目となり、当日は海技教育機構本部、館山・口之津の海上技術学校、小樽・宮古・清水・波方・唐津の海上技術短期大学校の計7校の教員と内航海運事業者15社から22名を含む総勢39名が参加しました。

始めに、海技教育機構本部より入試状況や就職状況等の機構の概要説明があり、次に同機構側から提起された「船員の現状」、「船員の魅力・認知度」、「就職活動」等について夫々意見交換が行われ、優秀な人材の確保や女性船員のキャリアプラン、採用方針等について各社および各校の取り組みや現状が共有されました。

続いて、内航船社側から事前に寄せられた質問に対し、機構側より生徒からのアンケート結果や就職前に船社として協力できる事例等が共有されました。

本情報交換会では海技教育機構および内航WG双方より活発な意見交換が行われ、職業・企業を選択する上でのミスマッチを防ぐためにも、情報交換・共有を継続することが非常に重要であると再認識された機会になりました。

当協会は今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していきます。



情報交換会の様子